

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年3月29日 |
| 【四半期会計期間】 | 第51期第3四半期（自平成24年11月16日 至平成25年2月15日） |
| 【会社名】 | 株式会社ツルハホールディングス |
| 【英訳名】 | TSURUHA HOLDINGS INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 鶴羽 樹 |
| 【本店の所在の場所】 | 札幌市東区北24条東20丁目1番21号 |
| 【電話番号】 | (011)783-2755 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役常務執行役員 管理本部長 大船 正博 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 札幌市東区北24条東20丁目1番21号 |
| 【電話番号】 | (011)783-2755 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役常務執行役員 管理本部長 大船 正博 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第50期 第3四半期連結 累計期間 | 第51期 第3四半期連結 累計期間 | 第50期 |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年5月16日 至平成24年2月15日 | 自平成24年5月16日 至平成25年2月15日 | 自平成23年5月16日 至平成24年5月15日 |
| 売上高(百万円) | 242,525 | 259,139 | 320,969 |
| 経常利益(百万円) | 15,206 | 18,783 | 19,948 |
| 四半期(当期)純利益(百万円) | 7,980 | 10,555 | 10,594 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 8,481 | 12,800 | 11,731 |
| 純資産額(百万円) | 85,005 | 99,696 | 88,410 |
| 総資産額(百万円) | 134,453 | 152,959 | 142,694 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 338.43 | 446.32 | 449.74 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | 336.79 | 442.70 | 447.18 |
| 自己資本比率(%) | 62.8 | 64.8 | 61.6 |

| 回次 | 第50期 第3四半期連結 会計期間 | 第51期 第3四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年11月16日 至平成24年2月15日 | 自平成24年11月16日 至平成25年2月15日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 105.05 | 140.06 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の概況

当第3四半期連結累計期間（平成24年5月16日～平成25年2月15日）における経済情勢は、国内景気の下げ止まりの動きを受け景気回復への期待感がみられるものの、雇用状況は依然として厳しさが残り、海外景気の下振れリスクなどによる先行き不透明感から低価格志向の消費が続いております。ドラッグストア業界においては、業種の垣根を越えた業務・資本提携や、生き残りをかけた企業の統合・再編への動きが強まっているほか、競合他社の出店や価格競争はさらに激化しており、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループではコンサルティングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、戦略的な営業施策を実施いたしました。具体的には、お客様のニーズに対応する高付加価値商品のコンサルティング販売に注力したほか、高品質で低価格のプライベートブランド商品「M's one（エムズワン）」の積極的な展開、利便性を考慮した食品の導入拡大、地域性を踏まえた営業時間の見直しなどが功を奏しました。北日本をはじめ一部地域で記録的な大雪による客数の鈍化がみられたものの、販促策や陳列の工夫により販売点数が引き続き伸長したほか、インフルエンザの流行による対策商品の需要増も加わり、既存店売上高は好調に推移いたしました。

出店につきましては、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より56店舗の新規出店と20店舗の閉店を実施いたしました。この結果、当第3四半期末のグループ店舗数は直営店で1,044店舗となりました。なおタイ国におきましては、平成25年1月24日にシラチャ地区1号店となる「ツルハドラッグ シラチャ・サハ工業団地前店」を出店したほか、バンコクでの出店もさらに推進し、タイ国内の当社グループ店舗は5店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

(単位：店舗)

| | 前期末 店舗数 | 出店 | 閉店 | 純増 | 第3四半期末店 舗数 | うち調剤薬局 |
|-------|------------|----|----|----|---------------|--------|
| 北海道 | 320 | 11 | 6 | 5 | 325 | 56 |
| 東北 | 324 | 17 | 2 | 15 | 339 | 59 |
| 関東・甲信 | 310 | 17 | 11 | 6 | 316 | 87 |
| 中部・関西 | 13 | 3 | 1 | 2 | 15 | 1 |
| 中国 | 41 | 8 | - | 8 | 49 | 15 |
| 国内店計 | 1,008 | 56 | 20 | 36 | 1,044 | 218 |

(その他 海外店舗 5店舗、FC加盟店舗 11店舗)

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,591億39百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益172億19百万円（同18.3%増）、経常利益187億83百万円（同23.5%増）、四半期純利益105億55百万円（同32.3%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて102億64百万円増加し、1,529億59百万円となりました。おもな要因は、有価証券と新規出店に伴うたな卸資産の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億21百万円減少し、532億62百万円となりました。おもな要因は、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて112億85百万円増加し、996億96百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は3.2ポイント増加し、64.8%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 76,000,000 |
| 計 | 76,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年2月15日) | 提出日現在発行数 (株) (平成25年3月29日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|---------------|
| 普通株式 | 23,960,634 | 23,966,034 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 23,960,634 | 23,966,034 | - | - |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年3月1日から、この四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増減額 (百万円) | 資本準備金残高 (百万円) |
|----------------------------|-------------------|--------------|-----------------|----------------|-------------------|------------------|
| 平成24年11月16日～ 平成25年2月15日 | 29,000 | 23,960,634 | 62 | 7,181 | 62 | 40,465 |

(注) 1. 新株予約権行使による増加であります。

2. 平成25年2月16日から平成25年2月28日までの間に、新株予約権の行使により発行済株式総数が5,400株、資本金および資本準備金がそれぞれ11百万円増加しております。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年11月15日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年11月15日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 2,600 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 23,923,300 | 239,233 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 5,734 | - | - |
| 発行済株式総数 | 23,931,634 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 239,233 | - |

(注)「従業員持株会連携型ESOP」による信託所有の株式204,100株(議決権の数2,041個)につきましては、「完全議決権株式(その他)」の欄に含めて表示しております。

【自己株式等】

平成24年11月15日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------|-----------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (株)ツルハホールディングス | 北海道札幌市東区北24条東20丁目1-21 | 2,600 | - | 2,600 | 0.01 |
| 計 | - | 2,600 | - | 2,600 | 0.01 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年11月16日から平成25年2月15日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年5月16日から平成25年2月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年5月15日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月15日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,536 | 10,566 |
| 売掛金 | 7,238 | 7,827 |
| 有価証券 | 19,600 | 26,900 |
| 商品及び製品 | 40,777 | 43,311 |
| 原材料及び貯蔵品 | 18 | 22 |
| 繰延税金資産 | 1,864 | 1,137 |
| 短期貸付金 | 21 | 21 |
| その他 | 4,786 | 5,326 |
| 流動資産合計 | 87,843 | 95,113 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,086 | 7,449 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 2,604 | 2,777 |
| 土地 | 2,494 | 2,601 |
| その他(純額) | 130 | 104 |
| 有形固定資産合計 | 13,316 | 12,932 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 10,865 | 10,040 |
| ソフトウェア | 320 | 301 |
| その他 | 184 | 120 |
| 無形固定資産合計 | 11,370 | 10,462 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,187 | 9,639 |
| 繰延税金資産 | 411 | 459 |
| 差入保証金 | 21,849 | 22,487 |
| その他 | 1,773 | 1,922 |
| 貸倒引当金 | 57 | 60 |
| 投資その他の資産合計 | 30,164 | 34,449 |
| 固定資産合計 | 54,850 | 57,845 |
| 資産合計 | 142,694 | 152,959 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年5月15日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月15日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 33,760 | 36,002 |
| 短期借入金 | 1,120 | 838 |
| 未払金 | 5,277 | 4,919 |
| 未払法人税等 | 5,301 | 2,483 |
| 賞与引当金 | 2,348 | 1,089 |
| 役員賞与引当金 | 352 | 282 |
| ポイント引当金 | 869 | 1,004 |
| その他 | 1,012 | 1,202 |
| 流動負債合計 | 50,042 | 47,823 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,674 | 2,785 |
| 退職給付引当金 | 346 | 405 |
| 役員退職慰労引当金 | 15 | 15 |
| 資産除去債務 | 846 | 881 |
| その他 | 1,359 | 1,353 |
| 固定負債合計 | 4,242 | 5,439 |
| 負債合計 | 54,284 | 53,262 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,691 | 7,181 |
| 資本剰余金 | 22,282 | 22,830 |
| 利益剰余金 | 56,327 | 64,227 |
| 自己株式 | 953 | 797 |
| 株主資本合計 | 84,348 | 93,441 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,476 | 5,722 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,476 | 5,722 |
| 新株予約権 | 584 | 532 |
| 純資産合計 | 88,410 | 99,696 |
| 負債純資産合計 | 142,694 | 152,959 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月16日 至平成24年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成25年2月15日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 242,525 | 259,139 |
| 売上原価 | 174,474 | 186,108 |
| 売上総利益 | 68,051 | 73,031 |
| 販売費及び一般管理費 | 53,491 | 55,811 |
| 営業利益 | 14,559 | 17,219 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 89 | 117 |
| 受取配当金 | 53 | 77 |
| 備品受贈益 | 268 | 258 |
| 受取補償金 | - | 388 |
| 受取保険料 | - | 552 |
| その他 | 250 | 201 |
| 営業外収益合計 | 662 | 1,595 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12 | 10 |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 19 |
| その他 | 3 | 0 |
| 営業外費用合計 | 15 | 31 |
| 経常利益 | 15,206 | 18,783 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 0 | - |
| 固定資産売却益 | - | 0 |
| 新株予約権戻入益 | - | 73 |
| 特別利益合計 | 0 | 74 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 90 | 62 |
| 固定資産売却損 | 5 | - |
| 災害による損失 | 22 | - |
| リース解約損 | 6 | 5 |
| 投資有価証券評価損 | - | 24 |
| 減損損失 | 149 | 676 |
| その他 | 33 | 6 |
| 特別損失合計 | 308 | 775 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 14,898 | 18,082 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,642 | 6,968 |
| 法人税等調整額 | 275 | 558 |
| 法人税等合計 | 6,918 | 7,527 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,980 | 10,555 |
| 四半期純利益 | 7,980 | 10,555 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月16日 至平成24年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成25年2月15日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,980 | 10,555 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 500 | 2,245 |
| その他の包括利益合計 | 500 | 2,245 |
| 四半期包括利益 | 8,481 | 12,800 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8,481 | 12,800 |

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月16日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入および仕入債務に対し債務保証を行っております。

| | 前連結会計年度 (平成24年5月15日) | | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月15日) |
|----------|-------------------------|----------|------------------------------|
| 南部製箸(株) | 0百万円 | (株)ウエダ薬局 | 4百万円 |
| (株)ウエダ薬局 | 6 | | |
| 計 | 6 | 計 | 4 |

連結子会社の(株)ツルハは一部の店舗の差入保証金(前連結会計年度の差入保証金617百万円、当第3四半期連結会計期間の差入保証金576百万円)について、金融機関および貸主との間で代位預託契約を締結しており、当該契約に基づき、金融機関は、貸主に対して差入保証金相当額(前連結会計年度の差入保証金相当額617百万円、当第3四半期連結会計期間の差入保証金相当額576百万円)を同社に代わって預託しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月16日 至平成24年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成25年2月15日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 1,627百万円 | 1,604百万円 |
| のれんの償却額 | 824 | 824 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年5月16日至平成24年2月15日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|-----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成23年6月20日 取締役会 | 普通株式 | 1,042 | 44.0 | 平成23年5月15日 | 平成23年7月26日 | 利益剰余金 |
| 平成23年12月20日 取締役会 | 普通株式 | (注) 889 | 37.5 | 平成23年11月15日 | 平成24年1月16日 | 利益剰余金 |

(注) 配当金の総額には、従業員持株会連携型E S O Pの信託口に対する配当金9百万円を含めております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年5月16日至平成25年2月15日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|-----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成24年6月19日 取締役会 | 普通株式 | (注) 1 1,483 | 62.5 | 平成24年5月15日 | 平成24年7月24日 | 利益剰余金 |
| 平成24年12月18日 取締役会 | 普通株式 | (注) 2 1,196 | 50.0 | 平成24年11月15日 | 平成25年1月15日 | 利益剰余金 |

(注) 1 配当金の総額には、従業員持株会連携型E S O Pの信託口に対する配当金14百万円を含めております。

2 配当金の総額には、従業員持株会連携型E S O Pの信託口に対する配当金10百万円を含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・化粧品等を中心とした物販事業の単一セグメントであるため、記載を省略してあります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月16日 至平成24年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成25年2月15日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 338円43銭 | 446円32銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 7,980 | 10,555 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 7,980 | 10,555 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 23,581,738 | 23,649,444 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 336円79銭 | 442円70銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(百万円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 115,247 | 193,518 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | 新株予約権1種類(新株予約権の数3,630個) |

2【その他】

平成24年12月18日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金総額 1,196百万円

1株当たり配当金 50円00銭

効力発生日 平成25年1月15日

(注)平成24年11月15日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年3月29日

株式会社ツルハホールディングス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

| | | |
|--------------------|-------|---------|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 石若 保志 印 |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 関谷 靖夫 印 |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 毛利 篤雄 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツルハホールディングスの平成24年5月16日から平成25年5月15日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年11月16日から平成25年2月15日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年5月16日から平成25年2月15日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツルハホールディングス及び連結子会社の平成25年2月15日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。